

藤友



2016 春号

No. 398



心・技・体

取締役会長 高 藤 昌 和

これは、スポーツ界でよく使われる言葉で、その道を極めるために必要な大切な指標です。「心」とは、気持ち、心の状態など内面的なものであり、「技」とは、技術の習熟度といえます。「体」とは、体のことであり、筋力、柔軟性の持久力などの身体機能や体調であり、これらがバランスよく保たれた時に、素晴らしい結果が得られるということです。

大相撲初場所で優勝した、大関琴奨菊関は、まさにこの「心」「技」「体」が見事に一致して賜杯を獲得したのです。これは、スポーツのみならず、政治家にも経営者にも文化人にも、すべての人に必要なものだと思います。

企業経営には、「人」「物」「金」の三つの要素が必要で、この三つがうまく結び合わないと、経営は出来ません。しかし、それ以前に企業経営には「心」「技」「体」が必要です。最近企業のいろんな不祥事が発生していますが、今こそこの「心」「技」「体」が求められています。

企業を存続させるためには「利益」はもちろん必要であり、大切なことです。しかし、なり振りかまわず、利益だけを目的として追及して行くと不都合な問題を生じます。してはいけないこと、守らなければならないことがあります。

「心」以前ある先人が、昔は利益のことを“ごりやく”と言った。正しくまともに仕事を続けることにより結果として、“ごりやく”があるのであり、利益が目的の経営になっているが、これはやがて世の中がおかしくなると言われたことを思い出します。実に奥の深い言葉です。

次に「技」常に技術を磨き、努力しユーザーに満足していただく技術を貯えること、匠の技を求め続けることです。

「体」は、企業の体力であり、財務内容、管理能力や内部留保など、企業の力であり、人間的にも魅力のある自分の仕事に誇りを持っている社員がたくさんいることです。

建設業を通して、社会にお役に立ち、存在価値ある企業をめざして「心」「技」「体」を向上させ続けることが次の時代に生き残る、最善の方法だと信じます。

” 商品を売る前に信用を売れ”



創立70周年記念・参拝・法要・式典・祝賀会・記念事業

お陰さまで当社は平成28年2月25日、節目の創立70周年（創業84年）の記念日を迎え、本社、各支店それぞれ記念の諸行事を催しました。

本社では、恒例の戸上神社参拝を社長をはじめ役員、社員一同で行い、またこれまでに当社の礎を築いて頂いた関係物故者の法要を、鎮西別院にて実施しました。改めて創業以来、今日まで当社と関わりのあった多くの方々に感謝をし、敬意を表しました。

下関グランドホテルで開催しました式典では、例年の永年勤続者の表彰を行って永年の労をねぎらい、その後の祝賀会では当社の税務顧問、OB、協力会の皆さんをお招きし、70周年を祝いました。



70周年記念事業の一環と致しまして、社会福祉法人光の子会様へ些少ではございますが寄付をさせて頂きました。これは当社が、今日まで地域の皆さんに育んで頂いた感謝の意を込めて、少しでも地域に恩返しを致したく実施させて頂きました。今後とも建設業を通じて社会に貢献できる企業を目指して、社員一同精進して参ります。



《70周年記念のモニュメントの意味について》

70の数字をモチーフに70年間の時を刻んだという意味でゼロを時計のデザインにしました。当初、時計の針を、70年間の先輩方が築き上げた伝統に敬意を表すという意味で、7時ちょうどにしていたのですが、そこで止まってしまったかのように見えてしまうので、針を少し進めて、その伝統と技術を継承している決意を表す意味で7時20分とし、進行形のデザインにしました。

これを本物の時計にと言う意見もありましたが、本物の時計にしたいくない、大きな理由があります。

それは、本物の時計だと時計の針はいずれゼロに戻ってしまいます。どうしても気持ち的に何も無くなってしまおうような気がして、今の動かない時計のデザインに決めました。



第70期定時株主総会

第70期定時株主総会は2月19日午後3時よりタカフジ・アパートメント3階で開催しました。定刻高藤社長が議長を務め、開会の挨拶後、議事審議に入り、全議案、原案どおり承認、可決されました。

報告事項

第70期(自平成26年12月1日・至平成27年11月30日)
営業報告書、貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書報告の件

決議事項

第1号議案 第70期剰余金処分案承認の件

以上を以て総会は滞りなく終了いたしました。



永年勤続表彰

創立記念日にあたり、今年も9名の永年勤続者を表彰しました。表彰された皆さんおめでとうございます。



40年表彰



大阪支店 金子 俊文

40年を振り返ってみて、仕事中心の生活をしていたように思います。、その時の苦労したことばかりが頭に浮かんでしまっていますが、それが今後の糧になればと考えています。今後共よろしく願いいたします。

20年表彰



営業部 大江 邦彦

この度、勤続20年を迎えることができました。管理部で10年、営業部で10年、振り返れば多くの方に支えられ今の自分があると感謝しています。この感謝の気持ちを忘れず、お客様から「ありがとう」の言葉を頂けるよう誠心誠意努力していく所存です。



建設部 和田 宣明

この度、勤続20年表彰を頂き誠にありがとうございます。振り返りますと、表彰に値するような功績は、何一つ思い当たりませんが、与えられた仕事をいつも目いっぱい、やり遂げることができた喜びと充実感だけはしっかり掴むことができたと思っています。やっと折り返し地点に立つことが出来ました。これからも、精一杯会社を盛り上げていこうと思っていますのでよろしくお願い致します。

永年勤続表彰

20年表彰

福岡支店 **富安 聖**

永年勤続表彰ありがとうございます。入社してあっという間の20年。まだまだ未熟なところが多々あります。高藤建設と共に自分自身も成長していけるように精進していきます。

設備技術部 **中 維哉**

私は、入社して以来、設備技術部で施工管理・CS工事の仕事に励んでまいりました。当社が70周年、私が勤続20年を迎えられた事は、多くの皆様のお陰であることを改めて知り、会社の歴史を創られた諸先輩のお名前やお姿を思いだしております。これからも、仕事に励みながら、社員の一人として会社の発展に尽くしてまいりたいと存じます。今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻を 宜しくお願い致します。

10年表彰

建設部 **長野 雄一**

10年を迎えることが出来たのも諸先輩方のご指導のお陰と思いこれからも学ぶ気持ちを忘れず20年30年を目指しがんばって行きたいと思います。

建設部 **國本 忠史**

早いもので入社10年目を迎える事が出来ました。これまでの10年間は出会った方々にご指導を頂いた日々でした。今後は、まだまだ力不足ではありますが、少しでも会社に貢献する事により頂いたご恩を返したいと思います。

管理部 **吉本 宏子**

この度は、永年勤続表彰ありがとうございました。皆様のご指導のおかげで、勤続10年を迎えることが出来ました。支えてくださった方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

管理部 **栗原 京子**

右も左もわからないまま入社した私が勤続10年を迎えることができたのは、先輩方のご指導のおかげだと感謝致します。この節目に入社時の初心を思い出し、職務に取り組んで行こうと思っています。これからも変わらぬご指導ご鞭撻を宜しく願います。

八幡健診プラザ

- ▽ 発注者 一般社団法人西日本産業衛生会 様
- ▽ 設計監理 株式会社 内藤建築事務所九州事務所 様
- ▽ 工期 平成27年2月18日～平成28年2月29日
- ▽ 規模 S造3階建 延床面積 6,911.45㎡
- ▽ 工事場所 北九州市

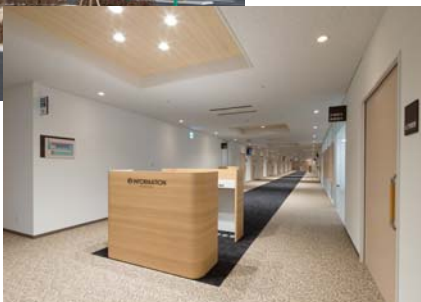


《完成して一言》

建物内部は、ホテル風に仕上がっていて、落ち着いた雰囲気の色使い、デザインの検診施設となっています。

八幡東区の東田に存在感のある建物が完成しました。

工事期間中は、設計事務所様をはじめ、数々のご協力を頂きありがとうございました。



【建設部 和田】

メディプラ城野

- ▽ 発注者 株式会社 オーエス 様
- ▽ 設計監理 ・基本設計・監修 久保田秀男 様
- ▽ 内装設計 吉川 昭 様
- ▽ 設計監理 九建設 株式会社 様
- ▽ 工期 平成27年9月1日～平成28年4月15日
- ▽ 規模 S造3階建 延床面積 7,074.50㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

「ゼロ・カーボン」、「子育て支援・高齢者対応」、「持続可能なまち」をコンセプトとした、城野駅北の先進エコタウン(BONJONO)に、今までにない医療型複合テナントビルが完成しました。城野駅北口「medipla」看板が目印です。新しくなったJR城野駅から北九州総合病院と対面で、専用デッキで結ばれています。

テナントは、北九州総合病院を補完する調剤薬局・診療所・カフェ・子育て支援施設を含め、新しい街の生活利便施設が整っており、300台の立体駐車場も完備され、利用者の気持ちを隅々まで配慮して設計した建物と、調和した調剤薬局に是非お越しください。



【建設部 河崎】

湊町非常用自家発電機室

- ▽ 発注者 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 設計監理 阪神高速道路 株式会社 様
- ▽ 工期 平成27年2月10日～平成28年3月10日
- ▽ 規模 S造平屋建 延床面積 169.18㎡
- ▽ 工事場所 大阪市



《完成して一言》

この施設は、災害時、阪神高速道路上の機器等が停電となった場合に電源を供給するためのものです。廻りが繁華街であり、環境、景觀に配慮して西面に壁面緑化を施していますので、今の無機質な感じを来年には和らげられそうです。工事期間中は阪神高速道路株式会社様及び協業者の皆様にはご協力いただき無事故無災害で竣工することができました、ありがとうございました。



【大阪支店 金子】

ゼロ災害実現計画説明会／安全衛生研修会

「皆さんご安全に」

安全で災害のない、明るい職場作りは、すべての人の願いです。安全の原点は、“思いやり”の気持ちであり、地味な努力の積み重ねが、大切です。

近年の建設需要は、活況を呈しており、それに伴い現場での人手不足や、未熟練労働者の増加等が問題となっており、より一層の安全管理に対する意識が重要となってきました。

リスクアセスメントや安全衛生教育等を行い、正しい知識で、危険予知、危険個所の撲滅に努め、安心安全な職場作りを目指しましょう。

“安全は、すべてに優先する”

代表取締役 高藤 元太郎

ゼロ災害実現計画説明会（本社）

本年も、3月末には弊社の安全計画の基本である『健康と安全と』を発行する運びとなりました。

安全第一で災害ゼロを達成する為に現場に合った安全計画を策定し全員に周知徹底することを目的に毎年作成しています。本冊子は弊社のホームページでも閲覧することが出来ます。昨年より労働安全衛生規則の改正により、工事現場の仮設足場からの墜落災害防止を強化するため『足場組立て等の作業にかかわる業務の特別教育』が義務化されました。それに伴い弊社で4月28日に約40名の協力会員が参加してその特別教育を行います。これを契機に安全の重要性を再認識し、安全で快適な職場づくりを協力業者の皆様と一体になって推進してまいります。



現場事務所にて

【建設部 吉浦】

支店でも開催ゼロ災害実現計画説明会

《大阪支店》

大阪支店は3月30日支店4階会議室にて平成28年度安全衛生研修会を開催致しました。

まず林支店長より建設業界の近況報告があり、続いて安全研修を行いました。「健康と安全と」の資料に基づいて過去の災害事例を説明、引き続き施工体制台帳についての勉強会を行いました。最後に全員一丸となり安全第一を実践することを再確認しシュプレヒコールで閉会しました。

【大阪支店 古賀】



《福岡支店》

平成28年3月25日当社の安全研修会が各現場事務所にて行われました。

主な内容は、ゼロ災害実現計画について、災害発生事例を写真、グラフ等を用いて説明しました。どのような時にどのような形で災害は起こっているのかを説明しました。その多く



は、保護具の未着用や、電動工具や仮設材を正しく使用しなかったことが原因でした。

職人さんの多くは経験豊富な熟練工の方々です。しかし、それ故の慣れ作業、油断、過信などが、災害発生の引き金となると思いました。

工期やその他の条件も厳しい現場も多いとは思いますが、「安全はすべてに優先する」この言葉を今一度胸に止め、当社、協力業者様一丸となってゼロ災害計画の実現という目標を完遂したいと思いました。

【福岡支店 原】

70周年記念「40年前のあの頃を思い起こして」

今から48年前に14名の新入社員の一人として入社しました。旧社屋の別館で入社式が行われ、その年の5月に今の本社へ引っ越したので、私が旧社屋で最後の新入社員となりました

その年「霞が関ビル」が完成し、将来、わが社もこんなビルを建設する日が来るだろうと夢を膨らませていたのを覚えています。

その時支給されたのは、作業服、作業帽、ヘルメット、そろばんそして折尺でした。当時は今のようにパソコンやiPhoneなどは夢にも思わず、T定規、三角スケールを使って施工図を、また数量計算はそろばんを使って、上司のチェックや指導を受けながら仕事をしていました。

当時足場、鉄筋、型枠、造作、左官などの工種は当社が材料を支給し、手間請けだったので現場担当者の画いた図面で釘、番線、コンパネなどの数量を拾い出し発注書を作成し、前日の午前中までに資材部に提出すると翌日入荷になるので、如何に発注を迅速に出来るかで現場の進捗に大きく影響していました。

今思えばその年は工事現場も数多く、とても忙しく年末にもち代として金一封を頂いたのがとても印象に残っています。ちょうどその頃、3億円事件のニュースが日本中を騒がしている頃でした。

入社して昭和56年5月まで現場を担当し、それ以後は積算課、購買部で、また35年ぶりに木造住宅現場に携わっておりますが、この年でも「健康とやる気」が大切だとつくづく感じております。



三 野 紘 一

次世代に向けて我が社の取り組み

CHALLENGE!!70

前回では「BIMの概念」とは3Dデータが様々な情報を持ったものという漠然としたことを記載いたしました。

今回はもう少し具体的に説明しましょう。

部材に情報が付加されているのは、2DCADにはなかった考え方だと思います。勿論、今の段階では、その概念を完全に再現出来る機能を持つソフトはないというのが正直なところです。

でもそれは技術的なものですから、時間が解決してくれることだと思います。BIM(ビム)の機能が進化して、やろうとしていることの方向性は様々な可能性を感じます。

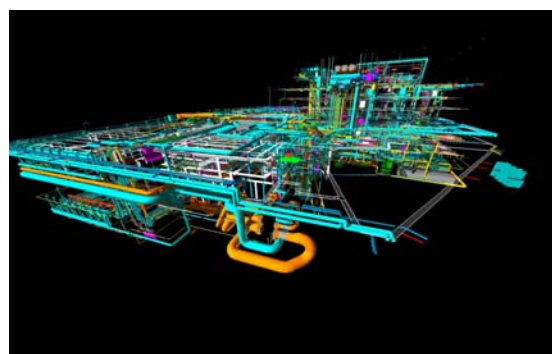
今までの3次元CADの利用方法は図面を3次元化してデザインの検討を行い、それをまた2次元の図面にするという使い方でした。それが、BIMでいうと3次元モデルから2次元の図面化は図面を3次元モデルから取り出すという機能なのです。

コンピューターのアプリケーションであるCADは、あくまでもツール(道具)です。そのツールがどんどん進化して身近になると、どうやって使っていけば良いかという興味が生れます。それがBIM活用のきっかけです。ヴァーチャルな空間だとしても、頭の中で2次元の図面を組み立てて考えるより実際に画面上で3次元で組み立てる方が思い通りの検討ができます。最終的に結果として2次元の図面や面積表が取り出せるなら、一から全てを描く必要がなくなることはBIM(ビム)活用の副産物かも知れません。

BIM(ビム)の概念についてはなんとなく掴めたと思いますが、では何のために3DCADを使うのか。その目的をしっかりとっておくことが非常に重要です。わざわざ手間と時間をかけてまで3Dのモデリングをするのはなぜか。ここがクリアになっていないと、何のために時間とお金をかけてBIM(ビム)を使っているのが分らなくなります。3Dモデリングは2DのCADに比べて作成に時間がかかるという非常に大きなデメリットを抱えています。図面だけが目的であれば、無理をして設計時に時間のかかる3Dのモデリングをする必要ありません。でも、図面という目的に目を向けるのではなく、その先にBIM(ビム)という情報管理を目的に置くと理想的な目標ができます。それを目指すという基本的な方針がぶれてしまうと、なかなか効果的な使い方はできないのではないのでしょうか。

テクノロジーが進化してきた時、何のためにその道具を使うのか、どのように使うのか、そして使った結果、今まで以上に質の高いものができる事が一番大切です。意外とその目的に気づかなくなっていて、処理能力が早いとかどこでも使えるということが便利だということだけになりがちです。今後もテクノロジーはどんどん進化するので、それを見極める目を持つことも非常に重要なことだと思います。

難しい訳の分らない事ばかり並べてしまいましたが要するに今後「BIM(ビム)を含みITを有効に活用することは「何を創るか」というより「誰が使うか」ということを重要にしなければ、ITの進歩は望めないのかもしれない。



平成28年度入社式

当社は、今年度5名の新入社員が入社しました。

4月1日の入社式で「社会人としてピンチはチャンスと捉え、失敗を恐れず何事にも積極的にチャレンジしてください。」という社長からの訓示を受け、4月1日からそれぞれ新人研修をスタートさせました。

【管理部 田中】



新入社員 これからの抱負



大学生活・プロジェクト等で学んだことを活かし、会社に貢献していきたいです。しかしまだ知識不足です。向上心を持って仕事に精進し、資格を取り地域の皆さまから愛される建築家になりたいと思います。よろしくお願いします。

建設部 越路 東



ようやく長い学業を終わって社会人というまた新しい一步を踏み出す時が来ました。いろいろなプレッシャーがありますが、その分楽しい事もあります。何事にも挑戦して積極的に仕事に取り組みたいです。

建設部 金木 巧太



新入社員としてたくさんのことを学び、早く会社の雰囲気になれていければと思っています。初めてのことで不安が大きいです。積極的にチャレンジしていきたいと思っています。分からないことが多いですが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

建設部 池本 裕哉



三月に卒業して社会人となり期待と不安の両方があります。早く一人前になれるようにいろんな事にチャレンジしていきたいと思っていますのでご指導よろしくお願いします。

建設部 赤瀬 太一



まずは先輩方にしっかりと付いていけるように与えられた仕事に一生懸命取り組みたいです。また、一日でも早く会社に貢献できるよう、積極的にがんばりますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

福岡支店 田口 美生

建築耳寄り話

建築が言葉の由来になっている「建築から生まれた言葉」第3弾です。

1. 『埒(らち)があく』

<意味>：物事の区切りがつく。片がつく。

<語源>：埒とは、馬場の周囲の柵や、しきり、低い垣のこと。埒が開くことは区切り、障害物が取り除けられることなので、そこから物事の片がつくという意味になりました。



2. 『叩き上げ』

<意味>：苦労を重ねて腕を磨き一人前になった人のこと。

<語源>：「三和土(たたき)」を作る時、生半加な叩き方ではいい土間が完成しなかったことから生まれたそうです。



3. 『柿(こけら)落とし』

<意味>：新築または改築した劇場や映画館で行われる初めての興行。

<語源>：「こけら」とは木材を削った時に出てくる切りくずのこと。

昔の芝居小屋の屋根は板葺きでできていたので、芝居小屋の新築や改築工事の最後に、屋根などの「こけら」を払い落としたことから、完成後初めての興行を「こけらおとし」と言うようになったそうです。



4. 『大黒柱』

<意味>：家や団体の中心となり、支えになっている人のこと。

<語源>：大黒柱は、家の中央にあって、最初に建てる柱のこと。

民家では土間と床上部との境にある特に大きな柱を指します。ここから転じて生まれた言葉です。



編集後記

表紙の写真は北九州市八幡東区の私営「河内藤園」の藤棚です。
2015年、アメリカのCNNが選んだ『日本の最も美しい場所31選』にもエントリーされました。TwitterやFacebookなどのSNSで拡散され、世界中で話題になっているとのこと。ここの素晴らしい風景は本当に絶景で、毎年見頃となるゴールデンウィーク(4月下旬から5月上旬)はたくさん見物客でにぎわいます

発行

高藤建設株式会社 高藤元太郎
北九州市門司区東新町1-1-30
TEL093-381-0461 FAX093-381-0543
<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社